

I. 事業評価総括表（平成30年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当 額	備 考
1	福祉対策 措置	川上村国民健康保険 川上診療所維持運営事業	川上村	4,400,000	4,400,000	総事業費 17,763,292

II. 事業評価個表（平成30年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	川上村国民健康保険 川上診療所維持運営事業	川上村国民健康保険川上診療所維持運営事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		川上村	
交付金事業実施場所		川上村一円	
交付金事業の概要		診療所の医師1名の人件費に充当し、診療所の維持運営を行いました。へき地である本村においては、診療所が重要な医療施設となっている。その診療所の維持運営を図ることで、住民が安心して生活できる基盤を整備し、ひいては人口流出の抑制による定住促進が期待できます。	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>川上村では、総合計画において「安全で安心できる地域社会に包まれた暮らしの実現」を掲げており、交付金を活用することによって、常勤医師を確保し、医療体制の充実を行います。</p> <pre> graph TD A[都市にはない豊かな暮らしの実現] --> B[安全で安心できる地域社会に包まれた暮らしの実現] B --> C[第3章 暮らし] B --> D[保健・医療] C --> E[医療の充実] D --> E </pre>	
事業開始年度		平成30年度	事業終了（予定）年度
事業期間の設定理由		平成30年度	

交付金事業の成果目 標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	平成30年度		
	診療所受 診者数 4500人	—	成果実績	人		4,419		
			目標値	人		4,500		
			達成度	%		98.2%		
	評価年度の設定期由							
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施後に評価を実施。							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	へき地である本村において、常勤医師を確保することは非常に困難な事であり、 村民が安心して生活する上で最優先課題だと考えられる。無医村となることは過 疎化に拍車をかける要因の一つになると考えられるため、引き続き常勤医師を雇 用していく必要があります。							
評価に係る第三者機関等の活用の有無								
無								
交付金事業の活動指 標及び活動実績	活動指標			単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	
	診療日数		活動実績	日	243	244	244	
			活動見込	日	243	244	244	
			達成度	%	100%	100%	100%	
交付金事業の総事業 費等	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備 考				
総事業費	17,749,812	17,782,764	17,763,292					
交付金充当額	4,400,000	4,400,000	4,400,000					
うち文部科学省分								
うち経済産業省分	4,400,000	4,400,000	4,400,000					

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
人件費	雇用	医師1名	17,763,292
交付金事業の担当課室	川上村水源地課		
交付金事業の評価課室	川上村水源地課		